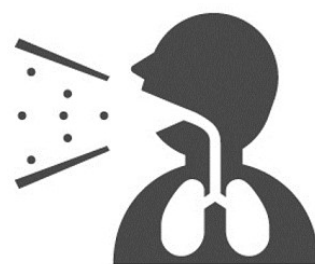


口腔ケアがウイルス感染症に 効果的な3つの理由

インフルエンザウイルスや新型コロナウイルスについて

(1)ウイルスの感染というのは、主に鼻と口と目から起こります。ただし、ウイルスが入ってきたからと言ってすぐに感染するわけではありません。感染が起こるかどうかは、ウイルスが体内の粘膜細部の中に入り込むかどうかによって決まります。

実は、お口の細菌がウイルスを粘膜細胞の中に入り込むのを助けるタンパク分解酵素を出すことが分かっています。特に、歯周病菌が強力なタンパク分解酵素を持っていることが分かっており、歯周病菌のコントロールがウイルス感染症予防に重要だと言われています。



(2)ウイルス感染を防ぐためには、体の免疫力を低下させないことも大切です。腸内細菌のバランスを整えることで免疫力が高まることはよく知られていますが、お口の細菌が食道→胃→腸へと移動し、腸内細菌を乱して体の免疫力を下げってしまう可能性があると言われています。そのため、お口が不潔な方や、歯周病にかかっている方は、食事のたびにお口の細菌が腸内へ運ばれ、免疫力を下げってしまう恐れがあるのです。口腔ケアをしっかり行っていれば、腸内細菌のバランスがより良くなり、免疫力の向上が期待できます。



(3)高齢になるにつれて、食べ物や唾液が誤って気道に入ってしまう「誤嚥」が起こりがちになります。この時、お口の中が不潔な状態だと、細菌が気管や肺に入り「誤嚥性肺炎」を起こしやすくなります。誤嚥性肺炎を起こしている状態のところに新型コロナウイルスなどのウイルスによる肺炎が起こると、肺炎が重篤化する恐れがあります。口腔ケアをしっかり行い、細菌による誤嚥性肺炎を起こさないようにしておくことで、新型コロナウイルスによる肺炎の重症化をふせぐことができます。



奈良市鶴舞東町2番10号

野阪歯科医院

Tel:0742-45-4457

野阪歯科医院

検索

